

2004—2005 年度研究会体制

<会 長> 谷本 英一 (たにもと えいいち) 1944 年生

名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科

TEL: 052-872-5865, FAX: 052-872-3495, E-Mail: tanimoto@nsc.nagoya-cu.ac.jp

根の研究が、文字通り食糧・環境・エネルギー問題の根本課題を解くキーとなって貢献できるよう努力したいと思います。特に、根の成長制御と細胞壁にご関心のある方はご連絡下さい。

<副会長> 高橋 秀幸 (たかはし ひでゆき)

東北大学大学院生命科学研究科

TEL: 022-217-5714, FAX: 022-723-8218, E-Mail: hideyuki@ige.tohoku.ac.jp

私は水分屈性や重力屈性など、植物の環境応答を研究しております。根研究会がいろいろな分野の研究参加でひとつのコミュニティを形成し、活動していることにいつも新鮮さを感じています。少しでも谷本会長をサポートできるように努力したいと思いますので、よろしくお願いします。

<副会長> 阿部 淳 (あべ じゅん) 1962 年生

東京大学大学院農学生命科学研究科

TEL&FAX: 03-5841-5045, E-Mail: abejun@cup.com

イネを中心に根の研究に取り組んでいますが、最近は双子葉の作物にも興味を持っています。根研究会も創立から干支で一巡しました。これまでの会の蓄積を活かしつつ、皆さんと新しい展開を模索していきたいと思っています。

<事務局長> 大門 弘幸 (だいもん ひろゆき) 1956 年生

大阪府立大学大学院農学生命科学研究科

TEL: 072-254-9407, FAX: 072-254-9407, E-Mail: daimon@plant.osakafu-u.ac.jp

研究会会員の方々の相互の情報交換にお役に立てればと思って連続して事務局をお引き受けしました。多様な分野の方々が集まっているこの研究会を大いに利用してください。研究集会も楽しいものになるように努力します。

<編集委員長> 山内 章 (やまうち あきら)

名古屋大学大学院生命農学研究科

TEL&FAX: 052-789-4022, E-Mail: ayama@agr.nagoya-u.ac.jp

多くの方が、自分の活躍の場として「根の研究」を位置づけて下さって、積極的に利用していただけることを願っています。そのためのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

<監 査> 矢野 勝也 (やの かつや)

名古屋大学大学院生命農学研究科

TEL: 052-789-4024, FAX: 052-789-5558, E-Mail: kyano@agr.nagoya-u.ac.jp

これまで自明とされていたことが、必ずしもそうではないということを、異分野の方々が集うこの研究会を通じて学んできたように思います。これからも、自分の内部にある暗黙の常識を崩していきたいと願っています。

<評議員> 明石 良 (あかし りょう) 1960 年生

宮崎大学農学部生物環境科学科草地環境科学講座

TEL&FAX: 0985-58-7257, E-Mail: rakashi@cc.miyazaki-u.ac.jp

新参者です。宜しく願ひ致します。現在の研究は、マメ科植物由来の新奇な材料(培養系)であるスーパールートを用いて根粒形成および根の生長と分化に関する種々の研究を行っております。この培養系を根研究のモデル材料として広く利用して頂きたいと思っております。

<評議員> 荒木 英樹 (あらき ひでき) 1974 年生

山口大学農学部附属農場

TEL&FAX: 083-933-5920, E-Mail: ahide@yamaguchi-u.ac.jp

これまで根の研究会に育まれてきました。根の研究からできる社会貢献を任期中のテーマにしたい
と思います。根の発育や水吸収機能について取り組んでいます。

＜評議員＞ ケネディ（赤坂）庸子（ケネディあかさか ようこ） 1971 年生

岩手大学農学部育種学研究室

TEL:019-621-6152, FAX:019-621-6177, E-Mail: yokok@iwate-u.ac.jp

根を扱った仕事からは少し離れていますが、「根研究会」に微力ながらお役に立てればと思っ
ております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

＜評議員＞ 飯嶋 盛雄（いいじま もりお） 1961 年生

名古屋大学大学院生命農学研究科

TEL: 052-789-4020, FAX :052-789-5558, 4012, E-Mail: mijima@agr.nagoya-u.ac.jp

間作した作物間の水競合、作物の深根による養水分吸収、根冠から剥がれ落ちる境界細胞と粘液の
役割、等に興味を持っています。昨年は、夏の長雨に泣かされ調査がうまくいかなかったので、今年
の夏の天候に期待をしています。

＜評議員＞ 伊藤 治（いとう おさむ） 1950 年生

国際農林水産業研究センター生産環境部

TEL: 029-838-6306, FAX: 029-838-6651, E-Mail: osamuito@jircas.affrc.go.jp

開発途上国に広がる不良環境地での作物栽培の安定・向上にむけた技術開発を作付け体系などと関
連づけて研究を進めています。このような地域での作物栽培においては、根系の果たす役割が非常に
重要ですので、その面から技術の提案などが出来たらと願っています。

＜評議員＞ 上田 英二（うえだ えいじ） 1950 年生

大阪府立大学先端科学研究所

TEL: 072-254-9836, FAX: 072-252-1163, E-Mail: uheda@riast.osakafu-u.ac.jp

ピーナッツ根粒の形成過程を調べています。ピーナッツ根における植物と微生物の相互作用の解析
を通して根の研究に貢献できればと考えております。

＜評議員＞ 大橋 善之（おおはし よしゆき） 1964 年生

京都府丹後農業研究所

TEL: 0772-65-2401, FAX: 0772-65-3561, E-Mail: yohhashi60@mail.pref.kyoto.jp

水稻、豆類、水田を取り巻く雑草に関して地域農業に根ざした試験研究を行っています。農業現場
に近いことを活かして、作物の生産性や品質に関する根の役割を知りたいと思っています。評議員と
しては、力不足かもしれませんが、がんばります。また、農業現場に興味のある方、共同研究してい
ただける方、ご連絡ください。

＜評議員＞ 河合 義隆（かわい よしたか） 1956 年生

三重大学生物資源学部 FSC 附帯施設農場

TEL: 059-230-0044, FAX :059-230-1463, E-Mail: kawai@bio.mie-u.ac.jp

植物の根を通して何が見えますか？根研究会の交流と発展に期待しています。宜しくお願いします。

＜評議員＞ 小池 孝良（こいけ たかよし） 1953 年生

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

TEL: 011-706-3854, FAX: 011-706-3450, E-Mail: tkoike@exfor.agr.hokudai.ac.jp

特殊土地帯の緑化を目標に大学院の学生さんと一緒に根の研究を進めています。北海道では根圏
制御センターも始動し、根圏の研究が盛んです。酸性土壌、超塩基性土壌などの生態系修復を微生物
の利用面から志しています。奥の深い分野なので興味津々です。

＜評議員＞ 近藤 始彦（こんどうもとひこ） 1960 年生

（独）農業生物系特定産業技術研究機構・作物研究所・稲栽培生理研究室

Tel: 029-838-8952, Fax: 029-83808837, E-Mail: chokai@naro.affrc.go.jp

専門は土壌肥料です。稲の生産性・品質に寄与する根の機能をもっと理解し、活用しようと努めています。根の研究会のいいところである雑多な分野の方の集まりである強みを生かせるようお手伝いできればと思います。

＜評議員＞ 佐藤 忍（さとう しのぶ） 1957 年生

筑波大学生物科学系

TEL: 029-853-4672 or 4871, FAX: 029-853-4672 or 4579,

E-Mail: satohshi@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

植物の根の働きをもっと知りたい！と心から思っている毎日です。

＜評議員＞ 下田代 智英（しもたしろ ともひで） 1967 年生

鹿児島大学農学部生物生産学科

TEL: 099-285-8540, FAX: 099-285-8540,

E-Mail: shimotas@farm.agri.kagoshima-u.ac.jp

根の非破壊計測法に始まり、イネ科作物の根の可塑性や水稻の根の活力の研究をしています。根の研究会のメーリングリストで流れる情報や集会への出席が今の私の研究の“活力”になっています。微力ながら会員の皆様のお役に立てるようがんばりますのでよろしくお願いいたします。

＜評議員＞ 巽 二郎（たつみ じろう） 1948 年生

京都工芸繊維大学生物資源フィールド科学教育研究センター

TEL: 075-861-0714, FAX: 075-881-8418, E-Mail: tatsumi@kit.jp

名大から異動し、圃場に近い場所で繊維・染料植物をはじめマイナーな資源植物を扱う予定です。薬料植物もそうですが染料植物などは根に成分が蓄積するケースが多く、興味深い対象です。植物の多様性と共通性をキーワードに、根研究会の活動がさらに厚みと広がりが増すと素晴らしいですね。

＜評議員＞ 辻 博之（つじ ひろゆき） 1966 年生

北海道農研センター総合研究部

TEL: 011-857-9300, FAX: 011-857-9300, E-Mail: tuzihiro@affrc.go.jp

北海道農業の問題解決に根の研究が役立てるよう取り組みたいと思います。

＜評議員＞ 土肥哲哉（どい てつや）

（株）西原環境テクノロジー研究開発部

TEL: 03-3455-4873, FAX: 03-3454-7619, E-Mail: tetsuya_doi@nishihara.co.jp

普段は民間会社で生物処理に関する研究をしており、根および根圏微生物の特性を環境保全やバイオマスに活用したいと考えています。

＜評議員＞ 中野明正（なかの あきまさ） 1968 年生

（独）農業・生物系特定産業技術研究機構野菜茶業研究所果菜研究部環境制御研究室

TEL: 0569-72-1647, FAX: 0569-73-4744, E-Mail: anakano@affrc.go.jp

野菜、花き、果樹など、特に園芸作物の根に関心があります。現在、本会誌におきまして「こんな根どうだ根」を連載しておりますが、皆さんの‘こんな根’の投稿お待ちしております。

＜評議員＞ 平野 繁（ひらの しげる） 1959 年生

東京農業大学農学部農学科

TEL & FAX: 046-270-6518, E-Mail: s-hirano@nodai.ac.jp

現在、キャンパス内で発生する畜糞や生ごみの堆肥化作業を進めています。堆肥施与による土壌の理化学的変化と、作物根との関連を研究していきたいと考えています。よろしく御願います。

＜評議員＞ 平沢 正（ひらさわ ただし） 1950 年生

東京農工大学農学部

TEL&FAX: 042-367-5671, E-Mail: hirasawa@cc.tuat.ac.jp

地上部と地下部の相互関係の視点から根の機能の検討を行っています。根については、環境条件が根の成長と機能にどのような影響を及ぼすかに関心をもっています。本研究会が一層積極的な情報や意見の交換の場となることを願っております。

<評議員> 南 基泰 (みなみ もとやす) 1964 年生

中部大学応用生物学部環境生物科学科

TEL: 0568-51-1111(5666), FAX: 0568-52-6594, E-Mail: minami@isc.chubu.ac.jp

最近、「生きている根」から「死んだ根」へと感心が移り、からからにひからびた「生葉」の根を見ては、「ニンマリ」する日々を送っています。いろいろな生葉の根から、成分を抽出したり、DNAを抽出する方法を考えたり、相変わらず「薬用植物の根」に感心を持っています。本研究会では、マイナーな材料ですが、薬用植物に関心のある方々とこの会を通して、交流を深められたらと考えています。微力ながら、会の発展のために、がんばりたいと思っています。会員のみなさん、よろしくお願いします。

<評議員> 村中 聡 (むらなか さとる) 1973 年生

鳥取大学乾燥地研究センター研究員

TEL: 0857-21-7252, FAX: 0857-29-6199, E-Mail: strn00@mac.com

座右の銘は「一期一会」。ひと時ひと時を大切に、研究にも人間関係にも大きく根を張りたいと思います。耐塩性・耐湿性・耐乾性と、根っこにかかわるストレス耐性機構について研究を行っています。

<評議員> 森田 茂紀 (もりた しげのり) 1954 年生

東京大学大学院農学生命科学研究科附属農場

TEL: 0424-63-1687, FAX: 0424-64-4391, E-Mail: anatomy@fm.a.u-tokyo.ac.jp

理想型根系の解明、根系制御技術の開発、根系形態・機能のモニタリングという3つの視点から仕事を進めております。国際根研究学会 (ISRR) の副会長として、根研究会 (JSRR) との橋渡しの役割を果たしていくつもりです。

<評議員> 山口 淳二 (やまぐち じゅんじ)

北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻形態機能学講座 II

TEL& FAX: 011-706-2737, E-Mail: jiyama@sci.hokudai.ac.jp

根は栄養素などの外環境に適応して形を変化させます。植物のもつ優れた環境適応能力を研究する上で、根は格好の材料となります。この研究会での交流から新しい研究が生み出されていくことを祈っております。私自信は、根よりの窒素吸収と炭素/窒素比 (C/N) による生長・発生制御を中心とした研究を進めていくつもりです。

<評議員> 山下 正隆 (やました まさたか) 1948 年生

(独) 農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター総合研究部南西諸島農業研究チーム

TEL: 096-242-7693, FAX: 096-242-7693, E-Mail: my898@affrc.go.jp

根の研究対象として、多様な畑作物、野菜、花、果樹、林木、飼料作物などについても積極的な取り組みを期待します。現在、野菜、畑作物の耐暑性や高温ストレスと根の形態・機能との関係に興味を持っています。